



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日

上場会社名 日産化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下 小次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 大門 秀樹 (TEL) 03-4463-8404  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	49,280	1.2	9,810	5.0	10,416	4.4	7,608	△2.9
2020年3月期第1四半期	48,718	△4.2	9,341	△12.5	9,981	△16.1	7,835	△11.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 10,091百万円(71.1%) 2020年3月期第1四半期 5,898百万円(△21.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	52.38	—
2020年3月期第1四半期	53.13	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	232,075	184,554	78.8
2020年3月期	249,522	185,528	73.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 182,914百万円 2020年3月期 183,917百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	42.00	—	48.00	90.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	46.00	—	50.00	96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	96,600	0.1	16,100	△10.7	16,700	△10.4	12,500	△13.9	86.64
通期	214,500	3.7	39,300	1.7	40,400	1.0	30,800	0.1	214.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	146,000,000株	2020年3月期	146,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,332,596株	2020年3月期	522,578株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	145,262,467株	2020年3月期1Q	147,485,633株

※当社は、前第2四半期連結会計期間より「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

期末自己株式数に含まれる当該自己株式数は、当第1四半期連結会計期間末において、166,100株です。

また、期中平均株式数から控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当第1四半期連結累計期間において、166,117株です。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

2020年8月11日 (火) に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。また当日開催する機関投資家・アナリスト向け電話会議の説明内容 (音声) については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）の国内景気は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休業・外出自粛要請等により内需が急落したほか、世界経済の悪化により輸出も減少した結果、大幅に悪化しました。このような状況のもと、当社グループの事業につきましては、化学品部門は、基礎化学品の売上が減少しました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料、半導体材料が順調に推移しました。農業化学品部門は、ほぼ前年並みの売上となりました。医薬品部門は、「ファインテック」（医薬品技術開発型受託事業）は増収でしたが、創薬事業は減収となりました。

この結果、当期間における業績は以下の結果となりました。

	2020年3月期 第1四半期連結累計期間	2021年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比増減	計画比増減(注)
売上高	487億18百万円	492億80百万円	+5億61百万円	5億円下ぶれ
営業利益	93億41百万円	98億10百万円	+4億68百万円	13億円上ぶれ
経常利益	99億81百万円	104億16百万円	+4億35百万円	13億円上ぶれ
親会社株主に帰属する 四半期純利益	78億35百万円	76億8百万円	△2億27百万円	8億円上ぶれ

(注) 計画数値は2020年3月期決算説明資料(2020年5月15日発表)P14に記載

セグメント別概況は以下のとおりであります。

#### 化学品部門

基礎化学品では、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）の販売は増加したものの、メラミン（合板用接着剤原料等）の出荷が減少しました。ファインケミカルでは、「テピック」の一般向け（粉体塗料硬化剤）や環境化学品が減収となりました。

この結果、当部門の売上高は74億15百万円（前年同期比9億87百万円減）、営業利益は6億68百万円（同1億95百万円減）となりました。計画(注)比では、売上高は11億円、営業利益は5億円の減となりしました。

(注) 計画数値は2020年3月期決算説明資料P19, 20に記載

#### 機能性材料部門

ディスプレイ材料では、「サンエバー」（液晶表示用材料ポリイミド）のタブレット、ノートPC向けが好調でした。半導体材料では、半導体用反射防止コーティング材（ARC\*\*）が顧客の稼働好調を受けて増収となりました。無機コロイドは、「スノーテックス」の電子材料用研磨剤向けが堅調でしたが、オイル&ガス材料（シェールオイル・ガス採掘効率向上材）の販売は減少しました。

この結果、当部門の売上高は170億84百万円（前年同期比19億59百万円増）、営業利益は53億10百万円（同13億32百万円増）となりました。計画(注)比では、売上高は2億円、営業利益は11億円の増となりました。

(注) 計画数値は2020年3月期決算説明資料P19, 20に記載

\*ARC\*\*はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

#### 農業化学品部門

フルララネル（動物用医薬品原薬）は、顧客在庫影響により減収となりました。国内向け農薬は、「アルテア」（水稲用除草剤）は順調に推移しましたが、「ラウンドアップ」（非選択性茎葉処理除草剤）は販売規格整理のため出荷が減少しました。海外向け農薬は、「グレーシア」（殺虫剤）や「タルガ」（除草剤）が好調な売上となりました。

この結果、当部門の売上高は145億82百万円（前年同期比84百万円減）、営業利益は40億17百万円（同4億54百万円減）となりました。計画(注)比では、売上高は6億円の減、営業利益は4億円の増となりました。

(注) 計画数値は2020年3月期決算説明資料P19, 20に記載

## 医薬品部門

「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬は、国内外で後発品の増勢の影響を受け、減収となりました。「ファインテック」は、増収となりました。

この結果、当部門の売上高は15億円（前年同期比3億71百万円減）、営業損失は70百万円（同4億52百万円減）となりました。計画(注)比では、売上高は3億円の上ぶれ、営業利益は計画通りとなりました。

(注) 計画数値は2020年3月期決算説明資料P19, 20に記載

## 卸売部門

当部門の売上高は181億82百万円（前年同期比7億11百万円増）、営業利益は6億52百万円（同1億26百万円増）となりました。計画(注)比では、売上高は11億円、営業利益は2億円の上ぶれとなりました。

(注) 計画数値は2020年3月期決算説明資料P19, 20に記載

## その他の部門

当部門の売上高は47億85百万円（前年同期比83百万円減）、営業利益は47百万円（同7百万円減）となりました。

(注) 当社グループは、2021年3月期よりセグメント別営業利益の集計方法を変更しており、前年同期比も同じ方式で集計した数字から計算しています。新しい集計方式では、これまで各セグメントに配賦していた連結調整額（棚卸未実現利益、固定資産未実現利益など）を、会社全体の調整額で一括処理しています。なお、影響は軽微であります。

## (2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比174億46百万円減の2,320億75百万円となりました。

負債も短期借入金が減少したことなどから、前連結会計年度末比164億72百万円減の475億21百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比9億74百万円減の1,845億54百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比5.1ポイント増加し、78.8%になりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、123億94百万円の収入（前年同期は99億76百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資による支出などにより、15億57百万円の支出（前年同期は6億3百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払などにより、248億51百万円の支出（前年同期は297億82百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額の増加額9百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して140億5百万円減少し、166億33百万円（前年同期は155億66百万円）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、前回発表(2020年5月15日)の業績予想から変更ございません。

前回発表の業績予想には新型コロナウイルスの影響を織り込んでおりませんでした。現時点においては、この影響は限定的と見込んでおります。

## (4) 利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。

なお、2019年4月に始動した中期経営計画「Vista2021」のStage II では、2020年度以降は配当性向を45%、総還元性向を75%とすることを目標としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,639	16,633
受取手形及び売掛金	72,509	63,003
商品及び製品	33,131	34,624
仕掛品	153	561
原材料及び貯蔵品	10,590	11,422
その他	7,199	8,410
貸倒引当金	△26	△27
流動資産合計	154,196	134,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,850	24,620
その他（純額）	26,731	26,229
有形固定資産合計	51,581	50,849
無形固定資産		
ソフトウェア	566	518
その他	6,812	6,665
無形固定資産合計	7,379	7,183
投資その他の資産		
投資有価証券	30,873	34,575
その他	5,575	4,922
貸倒引当金	△84	△84
投資その他の資産合計	36,364	39,412
固定資産合計	95,325	97,446
資産合計	249,522	232,075

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,876	15,828
短期借入金	23,538	12,651
未払法人税等	6,167	1,916
賞与引当金	2,151	677
役員賞与引当金	26	7
その他	11,254	11,270
流動負債合計	60,015	42,352
固定負債		
長期借入金	1,076	1,076
事業構造改善引当金	284	184
関係会社事業損失引当金	309	309
役員株式給付引当金	46	50
退職給付に係る負債	208	227
その他	2,053	3,322
固定負債合計	3,978	5,169
負債合計	63,993	47,521
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,613	13,613
利益剰余金	146,997	147,615
自己株式	△2,470	△6,545
株主資本合計	177,082	173,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,782	10,163
為替換算調整勘定	△896	△824
退職給付に係る調整累計額	△51	△49
その他の包括利益累計額合計	6,834	9,289
非支配株主持分	1,610	1,639
純資産合計	185,528	184,554
負債純資産合計	249,522	232,075

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	48,718	49,280
売上原価	28,310	28,480
売上総利益	20,408	20,799
販売費及び一般管理費	11,067	10,989
営業利益	9,341	9,810
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	330	306
持分法による投資利益	287	256
その他	273	272
営業外収益合計	898	841
営業外費用		
支払利息	42	31
固定資産処分損	32	65
為替差損	170	99
その他	12	38
営業外費用合計	258	235
経常利益	9,981	10,416
特別利益		
投資有価証券売却益	852	-
特別利益合計	852	-
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	10,833	10,416
法人税、住民税及び事業税	2,197	1,988
法人税等調整額	764	800
法人税等合計	2,961	2,788
四半期純利益	7,872	7,627
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,835	7,608

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	7,872	7,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,378	2,380
為替換算調整勘定	△586	81
退職給付に係る調整額	△8	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1,974	2,464
四半期包括利益	5,898	10,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,913	10,062
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	28

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,833	10,416
減価償却費	2,260	2,317
のれん償却額	0	16
受取利息及び受取配当金	△336	△311
投資有価証券売却損益 (△は益)	△852	△0
支払利息	42	31
固定資産処分損益 (△は益)	32	65
売上債権の増減額 (△は増加)	4,849	9,528
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,459	△2,697
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,071	△1,065
その他	△874	△261
小計	13,425	18,038
利息及び配当金の受取額	604	410
利息の支払額	△37	△29
法人税等の支払額	△4,016	△6,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,976	12,394
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2	△81
投資有価証券の売却による収入	1,746	0
有形固定資産の取得による支出	△2,247	△2,049
有形固定資産の除却による支出	△29	△43
無形固定資産の取得による支出	△16	△104
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△26	749
長期前払費用の取得による支出	△44	△14
その他	17	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△603	△1,557
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△17,463	△10,860
配当金の支払額	△6,206	△6,990
非支配株主への配当金の支払額	△111	-
自己株式の取得による支出	△3,829	△4,075
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△2,170	△2,925
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,782	△24,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	△206	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△20,616	△14,005
現金及び現金同等物の期首残高	36,183	30,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,566	16,633

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月30日の取締役会にて決議された「株式給付信託(BBT)」において、2020年4月24日付で対象者へ100株の株式給付を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が0百万円減少しております。

また、2020年5月15日の取締役会決議に基づき、810,000株の自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が4,074百万円増加しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	6,025	13,370	13,898	1,860	11,680	1,877	48,712	5	48,718
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,377	1,754	769	11	5,789	2,991	13,693	△13,693	—
計	8,402	15,125	14,667	1,871	17,470	4,868	62,406	△13,687	48,718
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	864	3,977	4,471	382	526	55	10,278	△937	9,341

(注) 1. セグメント利益の調整額△937百万円には、セグメント間取引消去△183百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△759百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	5,127	14,840	12,999	1,500	13,126	1,684	49,279	0	49,280
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,287	2,244	1,583	—	5,055	3,100	14,271	△14,271	—
計	7,415	17,084	14,582	1,500	18,182	4,785	63,550	△14,270	49,280
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	668	5,310	4,017	△70	652	47	10,627	△817	9,810

(注) 1. セグメント利益の調整額△817百万円には、セグメント間取引消去△59百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△758百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。